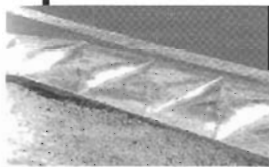


初めてのコースはこんな点に注意



▼エスケープゾーンがなく、コースのアウト側がすぐガードレールなんて場所も。慣れるまではドリフトさせず、安全第一で走るべし

▲場所によってはこんな波打っている縁石もあるぞ。コレに乗ってしまったら、どうなるかは想像できるよね? 十分に注意されたし。



30歳から始める

目指すは三十路の星!

# ドリフト

# 修練塾

photo — 澤田和久 report — 佐藤 圭

## 走行会に参加する! (第2回)

▲ハイロンコースとは違って、うかつにコースアウトはできないぞ。ガードレールや高い縁石のあるコースでの走行会は、生徒2人にとって初体験。果たして、いつもどおりの走りはできるのか?

取材協力 — TKくらぶ ☎0428-22-8665



今月の課題



**さ** あくまで、ハイロンコースの走行会を卒業した2人が今回チャレンジするのは、富士スピードウェイの「ドリフトコース」。ここは半分が縁石などで仕切られたコースで、残り半分はパイロンを立ててレイアウトを自由に作れるコースなんだ。外周にガードレールこそあるけど、スピシソウなポイントの縁石は低いので、安全面も文句ナシ! 今回の参加台数は、1グループにつき10台前後となる。台数は妥当なところだけど、2人が参加した「初心者クラス」はマサと竹ちゃんも含めて、アチコチでスピシしまくるこ

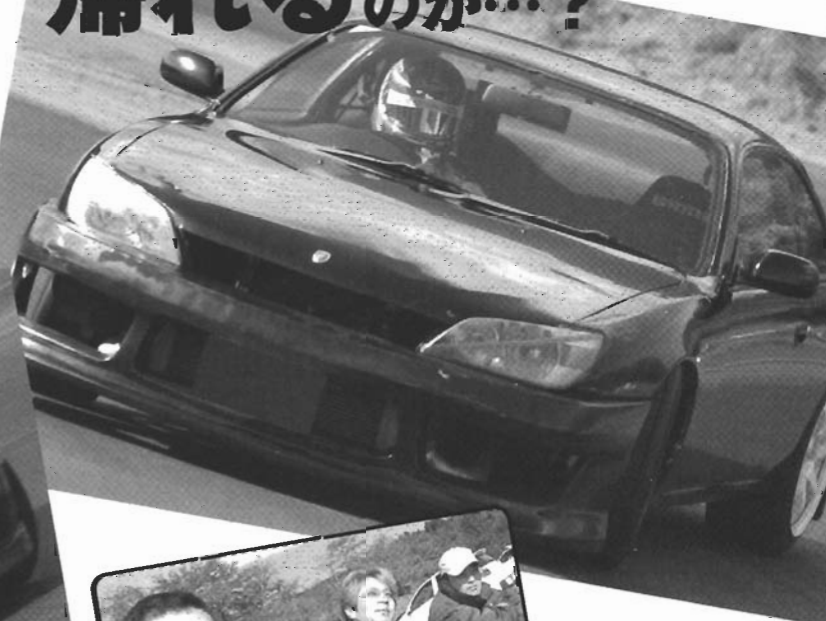
とは間違いない。だからシツカリとまわりを見て、前を走るクルマとの間隔を空けることが大事だ。また、初心者クラスでは後ろにピツタリとついてくる勇気があるヤツはいないだろうから、とりあえず前方を注意していればOKなはず。もし後ろから速いクルマが迫ってきたなら、素直に道を譲って無駄なクラッシュを避けるようにしよう。では、コースの攻め方を解説しよう。大切なのは、最初からすべてのコーナーをドリフトしようと考えないこと。まず小さめのコーナー1つに狙いを定めて走り、そこが完璧に

## “初めての走行会”に緊張も極限! 果たして五体満足で帰れるのか...?

前後のクルマの動きを常にチェックしよう!



▲ビギナー中心の練習会では、あちこちでスピシするクルマが……。前のクルマにあまり近づきすぎず、落ち着いて回遊できる精神的な余裕を持とう。また、新しい進入方法などに挑戦するのは、後続車が少なくなるときにしたい。



◀最初は今までにないほど不安げな表情のマサと竹ちゃんだったが、走り慣れてくると……だんだんと余裕の笑顔に変わって来た?



竹ちゃん  
3発振りは成功!  
立ち上がりさえ  
決まれば満点かも

70点

●まわりも問題なく見えていたし、3連発の振りっ返しも成功……。ってことで満点をあげたいんだけど、致命的な欠点がひとつある。ステアリングを戻すのが遅くて、どんなコーナーでも必ず立ち上がりで挙動が乱れてしまった。願じゃわかってはみただけで、大きな体にはなかなか伝わらない!!



▲やはり最初はかなりビビっていた竹ちゃん。しかし、慣れてくると次第にいつもの「暴走特急」ぶりを発揮。ま、コレが特長じゃないか?



▲予備のタイヤを大量に持ってきたのは感心だけど、なぜにハイグリップばかりなの? 今度はもう少しグリップしないタイヤを用意しよう。



坂東マサ  
走りは合格点!!  
次はライン取りをよ〜く考えよう!

●いつもの大口はどこへやら、今日はかなりビビり気味のマサ。自分の運転も信用できないうえに、まわりの運転も信じられない状態だったからね。でも、慣れてからの走りはかなり良かった。振りっ返しも6回に1回は成功していたからね。ただし走るラインが毎回バラバラ。次の課題はそこかな?



▶「相変わらずもぬ」コレ、ステアリングの慣れが、マサのコースな少なさ。コレは、コレでまたいじや「KOBAYASHI」



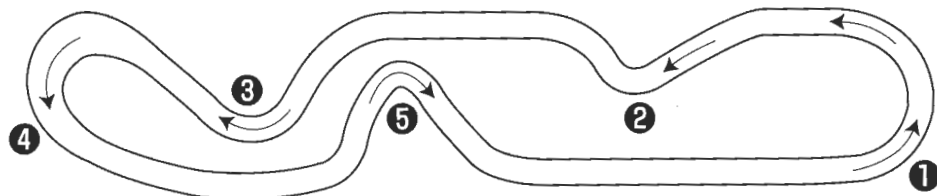
▲スピンしたクルマを避けるのも難題以上にスムーズな走りを。最初のビビりっ返しからは信じられないほど、落ち着いていました。

できるようなったら次に進むってワケ。今回は振りっ返しができる場所が2カ所あったので、そこをメインにしてみました。ガードレールが近い場所などは、無理しないようにと2人にキツク言っておいた。コレをちゃんと守ってくれたおかげで、今回はトラブルもなく無難に

走り切ることができたんだ。前後の間隔を開けることで、自分のペースで楽しめたみたいだね。せつかくのサーキットなんだから、クルマを壊さず笑顔で帰りたいってモン。そのために、走っているのは自分だけじゃないってことを、必ず頭に入れておくように!

## 安全にテクを磨けるドリフト専用コース!

富士スピードウェイ・ドリフトコース



### 村尾チンゴが教える「ドリフトコースはこう走れ!」

- 1 上級者は3速だがビギナーは2速で進入するのが安全**  
●上級者なら3速で進入できるが、今回は2速で入ってもらった。慣れないうちは手前のコーナーをまっすぐ立ち上がり、1つのコーナーとして走ったほうが良いだろう。コース幅が広いので、きつかけ作りの練習にも最適だね。慣れたら手前から振りっ返しで進入!
- 2 左→右→左という3発振りの特訓に最適なコーナーだ**  
●ここは3連発の振りっ返しが一番やりやすいコーナーといえるだろう。注意点は、立ち上がりであまりアウトまではらまないこと。そうすると2発目がキツくなってしまった。中央のエスケープゾーンには縁石もないので、安心して(?)ハミ出せるぞ。
- 3 クイックな操作で直線的に振り返すそれが攻略のカギ**  
●②と同じように見えるコーナーだけど、1つ目のコーナーが短いという点が最大のポイント。1つ目で勢いをつけすぎると、2つ目で見当外れな場所へ飛んでいってしまうんだ。浅めの角度で素早く振りっ返すことが求められるぞ。ダラダラした走りはNG!
- 4 エスケープがない最大の危険地帯だ。まずは出口から!**  
●最もデンジャラスな場所がここ。エスケープゾーンがなく、当たるとダメージもでかいので注意が必要だ。ビギナーは進入では流さないほうが安全かも。最初は出口のクリップ付近から流し、慣れてきたら流し始めるポイントを徐々に手前に移していこう。
- 5 深いアングルでアンダーを出さずに進入するべし!**  
●ここは長い直線から進入する複合コーナー。2つ目のRがかなりキツイので、1つ目で角度をつけすぎてもリカバリーしやすい。むしろ、角度が足りないとアンダーになってしまう。ただし最後はあまり角度をつけず、浅めのカウンターの立ち上がりで。

### 次回予告



●走行会デビューを無事に果たした2人。でもいまだに進入は2速までの最高だし、クラッチ踏み以外のドリフト方法を知らないんだよね。というワケで、今回は3速での進入にチャレンジだ。まったく未知のスピードに、マサ&竹ちゃんは対応できるのか!?

3速体験の速度域に突入!  
クラッチ踏み以外のドリフト方法に挑戦!

●TKくらぶ走行会で、中古タイヤをホイール付きで格安販売中!! 『持つてきたタイヤを使い切ったっていい!!』なんて心配も無用のだ。



低料金で走りやすい!  
TKくらぶドリフト走行会

●今回おじゃましたのは、「TKくらぶ」主催の走行会。「初心者でも気軽に楽しめるイベントを心がけています」と代表の神谷さんが言う。とおり、参加者にはビギナーが多い。今後のスケジュールなどは、ホームページ(<http://www.tkclub.jp>)をチェック!